

向こう1か月は気温が高い予報！ 穂肥・追肥を確実に施用しましょう！

- ・新潟地方气象台7月25日発表の北陸地方1か月予報(7月27日から8月26日)によると、平均気温は高い確率が50%です。
- ・葉色の低下が著しいほ場があります(ほ場間差が大きい)。
- ・隣の田んぼが穂肥を撒いたからではなく、高タンパクとならないように稲の姿を見た判断にて穂肥の時期と量を判断しましょう。

【コシヒカリの当面の管理ポイント】

1 分施肥体系の2回目の穂肥

有機入り肥料の場合は「出穂期 12～10 日前」に、窒素成分で1kg/10aを目安に施用しましょう。

2 全量基肥肥料(一発肥料)体系の追加施肥

基本的に穂肥施用の必要はありませんが、「出穂期 12～10 日前」頃の葉色が著しく低下している場合(葉色板3以下、SPAD値30以下)は、穂肥を施用しましょう。

(有機100%肥料の場合は 味好2号 15～20kg 程度/10a 等)

※ 出穂期間際での施用となる場合は、各 JA 営農窓口または普及センター窓口までご相談ください。

涼しい時間帯での作業を心がけ、水分補給と休息で熱中症を予防しましょう！